

喜多流 自主公演

平成二十七年六月

東岸居士 栗谷 充雄
雲雀山 栗谷 能夫
船橋 内田 安信

平成27年 6月28日(日)
12:00 開演 (11:00 開場)
十四世喜多六平太記念能楽堂

料金:全席指定(税込)

S席 9,000円 A席 8,000円 B席 7,000円

C席(1階栈敷席) 6,500円 D席(2階席) 6,500円

学生席(2階席) 2,500円 (25歳以下、要学生証提示)

・午前11時15分より、本舞台にて当日の演目の解説をいたします。
お気軽にご参加ください。

・当日券をご用意できる場合は午前10時45分より発売いたします。

主催 公益財団法人 十四世六平太記念財団 協力 喜多流職分会

チケット予約購入のご案内

インターネット

喜多能楽堂ホームページ <http://kita-noh.com/>
(24時間対応、要登録・無料)

【お受取り・お支払い】

① セブンイレブン

ご予約の際画面に表示された番号をレジにご提示の上チケットをお受取りください。お支払いは現金またはクレジットカードをご利用いただけます。ご予約の際クレジットカードで先にお支払いを済ませていただくことも可能です。

② 喜多能楽堂事務局 窓口

クレジットカードでお支払いの上(ホームページでのweb決済)、ご予約の際に画面に表示された番号を窓口にご提示いただき、チケットをお受取りください。現金でのお支払いはできません。

電話予約

喜多能楽堂事務局 TEL 03-3491-8813
(午前10:00～午後6:00 休館日あり)

【お受取り・お支払い】

① セブンイレブン

ご予約の際お伝えする番号をレジにご提示の上、チケットをお受取りください。お支払いは現金またはクレジットカードをご利用いただけます。

② 郵送

チケット代金と手数料を指定の銀行口座にお振込みください。入金確認後、簡易書留にてチケットをお届けいたします。

③ 喜多能楽堂事務局 窓口

ご予約の際お伝えした番号を窓口にご提示の上チケットをお受取りください。お支払いは現金のみとなります。

窓口

喜多能楽堂事務局 TEL 03-3491-8813
(午前10:00～午後6:00 休館日あり)

【お受取り・お支払い】

お支払いは現金のみとなります。

※お受取り・お支払い方法によって別途手数料がかかります。
ご予約の際ご案内いたします。

※平成27年度公演の前半5回分は発売中です。
後半5回分は平成27年9月1日午前10:00より発売します。

※ご予約いただいたチケットのキャンセル、変更はできません。

ご注意

- ・開演中の途中入場はお断りいたします。
- ・未就学児童のご入場はご遠慮ください。
- ・やむを得ない事情により出演者が変更になる場合がございます。
- ・許可なき写真・ビデオ撮影、及び録音はお断りいたします。
- ・客席での携帯電話やスマートフォンなど音や光の出る電子機器のご利用はお断りいたします。
- ・ロビー・見所でのご飲食はできません。2階ラウンジをご利用ください。
- ・喜多能楽堂は全館禁煙です。屋外喫煙所をご利用ください。
- ・お席を離れる場合は貴重品、お手回り品にご注意ください。盗難・紛失についての責任は負いかねます。コインロッカーもご利用ください。
- ・係員の指示に従っていただけない際には退場していただく場合がございます。

喜多流自主公演年間優待券

5枚綴り 35,000円

- ・ご希望のどの席種でもお選びいただけるお得な優待券です。
- ・お求めは喜多能楽堂事務局まで。各喜多流職分でも承ります。
- ・ご観能の際は別途チケットをご予約ください。追加料金はかかりません。ご予約は、インターネット、電話、窓口で承ります。年間優待券のみでの観能はできません。ご入場の際は、年間優待券とチケットをご提示いただきます。
- ・ご利用は、平成27年度喜多流自主公演のみ有効です。

自主公演観客席御案内



S席	9,000円	C席(1階栈敷席)	6,500円
A席	8,000円	D席(2階席)	6,500円
B席	7,000円	学生席(2階席)	2,500円

会場案内図



JR線・東急目黒線・都営三田線・東京メトロ南北線ともに目黒駅より徒歩7分。
目黒駅西口よりドレメ通りを直進。杉野学園体育館手前を左に入る。

※当能楽堂は駐車場施設がございませんので、お車でのご来場はご遠慮願います。

十四世喜多六平太記念能楽堂

〒141-0021 東京都品川区上大崎4-6-9

TEL: 03-3491-8813 FAX: 03-3491-8999

喜多能楽堂ホームページ: <http://kita-noh.com/>

六月自主公演番組

能

シテ・東岸居士 粟谷 充雄

東岸居士

ワキ・旅人 館田 善博

アイ・清水寺門前の者 能村 晶人

大鼓 柿原 光博
小鼓 森 貴史

笛

栗林 祐輔

後見 塩津 哲生
松井 彬

地謡

佐藤 陽
佐藤 寛泰
大島 輝久
塩津 圭介

佐藤 章雄
中村 邦生
粟谷 明生
友枝 雄人

狂言

酔 薑

シテ・酔売り 野村 萬

アト・薑売り 野村 万蔵

休憩 (二十分)

能

子 方・中将姫 粟谷 僚太

後シテ・前同人

粟谷 能夫

雲雀山

ワキ・藤原豊成 森 常好

前ワキ連・中将姫の従者 工藤 和哉

後ワキ連・豊成の従者 森 常太郎

後ワキ連・豊成の従者 大日方 寛

アイ・鷹匠 能村 晶人

アイ・犬引 山下 浩一郎

アイ・勢子 野村 虎之介

アイ・勢子 河野 佑紀

後見 粟谷 幸雄
金子 匡一

地謡

高林 昌司
佐藤 寛泰
粟谷 浩之
佐藤 陽

高林 呻二
大村 定
出雲 康雅
金子 敬一郎

休憩 (十分)

仕舞

杜 若

キリ

佐々木 宗生

地謡

谷 友矩
大島 輝久
佐々木 多門
友枝 真也

能

シテ連・里女の霊 内田 成信

後シテ・里男 前シテ・里男 内田 安信

船 橋

ワキ・山伏 宝生 欣哉

ワキ連・同行 坂苗 融

アイ・佐野の里人 河野 佑紀

大鼓 大倉 慶乃助
小鼓 森澤 勇司

太鼓

桜井 均
小野 寺竜一

後見 友枝 昭世
笠井 陸

地謡 友枝 真也
佐々木 多門

塩津 圭介

谷 友矩
谷 大作
長島 茂
香川 靖嗣
狩野 了一

— 終了予定 午後四時三十分頃 —

東岸居士 (とうがんじ)

東国から来た旅人が京都の清水寺へ参る途中、白川の橋の畔で、東岸居士に出会う。今日の説法を尋ねると「万事は皆、目の前に見えるものだから、「柳は緑、花は紅」である」と答える。更に旅人はこの白川の橋はどなたが架けた橋なのかと聞くと、先師の自然居士が仏縁の無い衆生を濟度する為(現実には通行の便利のため)に架けられた橋なので、今もこのように補修をするために勧進しているのだと言う。そして東岸居士の素性を聞くと、東岸居士は、本来住む所がないので出家というべき謂れもなく、出家してないので髪も剃らず法衣もつけないでいるのだと答え、そして旅人よどうぞ悟りの境地に至りなさいと勧める。東岸居士は旅人に面白く謡って聞かせてほしいと乞われると、云われるままに舞を舞い、羯鼓も打って遊芸の内に仏法を信じるように説いて聞かせる。

酔薑 (すはじかみ)

はじかみ売が京都へ商売に行く途中、酔売と出会う。互いに商売もの由緒正しさを、はじかみの縁でハカラVの音、酔の縁でハスVの音を折り込んで語り決着が着かない。都へ上る道すがら秀句を言い合って勝負をつけることにし、目に入る風物にカラとスを入れながら歩いていく。どちらも巧みな秀句に勝敗がつかず、酔とはじかみは縁の深い食べ物であったとめでたく終わる。

雲雀山 (ひばりやま)

中将姫が七歳の時に実母が他界、継母に育てられ十歳の時に父親の横佩の右大臣豊成は、継母の讒言を信じて我が子中将姫を殺すように命ずるが、従者は姫を殺すことが出来ず、乳母の侍従と家臣は心を合わせて中将姫を雲雀山の山中にかくまう。そして侍従は花を売りに出掛ける。ハ中入V ある日、姫を思って花を売る侍従は雲雀山辺りに鷹狩に来た豊成に偶然出会う。侍従は一行に花を買ってほしいと頼み花や鳥に託して姫の境遇を語り舞を舞う。豊成はこの花売りが侍従だと気がつき先非を悔いて中将姫と再会し連れて帰った。

船橋 (ふなばし)

三熊野の山伏が上野国佐野の山路を行くと、里男と里女が現れて橋の建立の勧進をする。山伏は橋建立勧進の謂われを尋ね、なお万葉集の歌に「東路の佐野の船橋取り放し」と「鳥は無し」があるが、どちらが本説かと尋ねると、昔の言い伝えがあるといつて話を始める。昔、川を隔てて住む男女がこの船橋を恋の通路にしていたが、それを良しとしないう二親が、橋板をはずし、二人は川に落ちて三途に沈み果て、その妄執で地獄の水に閉じられて浮かぶこともなかったと語り、実は我々がその二人であると云い、そして甲いを頼んで姿を消す。ハ中入V 山伏が祈禱をしていると、先程の男女の霊が現れて、男は地獄の苦しみを見せ、懺悔の為に昔、通い慣れた船橋を渡り、妻に会いに行く様子を再現し、山伏の法力で成仏が出来たと告げて、消えていった。

平成二十七年 九月 自主公演番組予告

平成二十七年 九月二十七日 (日) 正午始
十四世喜多平太記念能楽堂

岩 船 友枝 真也
千 寿 香川 靖嗣
熊 坂 中村 邦生